

被災状況確認チェックシート

拠点施設名: _____
 作成年月日: _____
 被災状況確認実施年月日: _____

部門名: _____
 作成者名: _____
 被災状況確認実施者名: _____

No.	チェック項目	チェック方法	判定	“NG”の状況	応急処置手順	対応状況
1	負傷者の確認	・自部門の従業員が普段立ち入る場所に移動し、負傷者がいないか確認を行う。	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・負傷者が発見された場合、安全かつ避難の妨げにならない場所を確保して負傷者を搬送し、「BCP-03-05_備蓄品一覧表」に記載されている救護物品を用いて、応急手当を実施する。 ・「BCP-03-06_緊急通報・連絡先一覧表」に記載されている消防署もしくは医療機関へ連絡を行い、救急出動ならびに負傷者受入の可否について、依頼もしくは確認を行い、必要に応じた対応を実施する。	
2	火災発生懸念箇所の確認	・火元となり得る箇所(ガス機器、コンセントなど)の確認を行う。 ・異臭がする場合は火災の発生を疑い、必ず複数人で発生源を調査する。	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・周辺の従業員に火災が発生した旨を伝え、火災報知機のボタンを押下し、消火器ならびに消火栓を使用して初期消火活動を実施する。 ・初期消火活動を実施するとともに、「BCP-03-06_緊急通報・連絡先一覧表」に記載されている消防署に連絡し、支援を要請する。 ・炎が天井に達しているなど初期消火活動によっても消火不能であると判断される場合は速やかに避難(「BCP-03_初動・復旧対応手順書」を参照)を行う。	
3	電力供給の確認	・電力機器(照明器具、エレベータ、パソコンなど)が使用可能か確認を行う。	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・電力会社もしくは設備管理会社に連絡(「BCP-03-06_緊急通報・連絡先一覧表」を参照)し、復旧作業の手配を行う。	
4	ガス供給の確認	・ガス機器(給湯室など)が使用可能か確認を行う。 (但し、異臭がする場合はガス機器の電源を入れたり点火しないこと。)	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・ガス会社もしくは設備管理会社に連絡(「BCP-03-06_緊急通報・連絡先一覧表」を参照)し、復旧作業の手配を行う。	
5	水道供給の確認	・水道設備(トイレや給湯室など)が使用可能か確認を行う。	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・市水道課もしくは設備管理会社に連絡(「BCP-03-06_緊急通報・連絡先一覧表」を参照)し、復旧作業の手配を行う。	
6	通信網の確認 ①	・固定電話(内線電話含む)ならびに携帯電話が使用可能か確認を行う。	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・電話会社もしくは設備管理会社に連絡(「BCP-03-06_緊急通報・連絡先一覧表」を参照)し、復旧作業の手配を行う。	
7	通信網の確認 ②	・社内ネットワークならびにインターネットが使用可能か確認を行う。	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・保守会社に連絡(「BCP-03-06_緊急通報・連絡先一覧表」を参照)し、復旧作業の手配を行う。	
8	情報システムの確認	・自部門の業務で使用している各種情報システムが使用可能か確認を行う。	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・保守会社に連絡(「BCP-03-06_緊急通報・連絡先一覧表」を参照)し、復旧作業の手配を行う。	
9	床、壁、天井、柱の確認	・“落下”や“ひび割れ”などの破損箇所ならびに人体に危険を及ぼす箇所がないか確認を行う。	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・危険な箇所には、その旨の表示をし、立ち入り禁止にする。 ・被害の程度によって優先順位をつけ、「BCP-03-05_備蓄品一覧表」に記載されている物品を用いて応急処置を行う。 ・二次災害の危険性や被害の程度により、自部門での応急処置が困難である場合は、専門業者に連絡し復旧作業の手配を行う。	
10	窓ならびに扉の確認	・“ガラスの割れ”や“扉の開閉不能”ならびに人体に危険を及ぼす箇所がないか確認を行う。	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・危険な箇所には、その旨の表示をし、立ち入り禁止にする。 ・窓ガラスが割れている場合は、社外にガラスが飛散していないか確認し、社外の落下箇所周辺も立ち入り禁止にする。 ・扉の開閉に不具合がある場合は修理が完了するまで開放状態にしておく。 ・扉の開閉が不能となり、従業員の閉じ込めや避難経路が塞がれている場合は「BCP-03-05_備蓄品一覧表」に記載されている物品を用いて応急処置を行う。 ・二次災害の危険性や被害の程度により、自部門での応急処置が困難である場合は、専門業者に連絡し、復旧作業の手配を行う。	

No.	チェック項目	チェック方法	判定	“NG”の状況	応急処置手順	対応状況
11	什器ならびに備品の確認	・“転倒”、“落下”、“ずれ”などによる破損ならびに人体に危険を及ぼす箇所がないか確認を行う。	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・危険な箇所には、その旨の表示をし、立ち入り禁止にする。 ・被害の程度によって優先順位をつけ、「BCP-03-05_備蓄品一覧表」に記載されている物品を用いて応急処置を行う。 ・避難の必要性和二次災害に留意しつつ、荷崩れ物品の整理整頓を実施する。	
12	空調設備の確認	・空調設備(エアコンなど)が使用可能か確認を行う。	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・設備管理会社に連絡(「BCP-03-06_緊急通報・連絡先一覧表を参照)し、復旧作業の手配を行う。	
13	避難経路の確認	・複数人で避難経路上に被害(扉の開閉不能、階段の崩落、物品の散乱など)が及んでいないか確認を行う。	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・代替避難経路を速やかに検討し、避難経路の確保を行う。 ・危険な箇所には、その旨の表示をし、立ち入り禁止にする。 ・避難経路が塞がれている場合は「BCP-03-05_備蓄品一覧表」に記載されている物品を用いて応急処置を行う。 ・二次災害の危険性や被害の程度により、自部門での応急処置が困難である場合は、専門業者に連絡し、復旧作業の手配を行う。	
14	施設周辺の確認	・隣接する建物において、火災などが発生していないか確認を行う。 ・近隣の道路が冠水や陥没、崩落などしていないか確認を行う。	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・必要に応じて避難を検討するとともに、「BCP-03-06_緊急通報・連絡先一覧表」に記載されている消防ならびに警察に連絡し、支援を要請する。	
15	環境への影響(汚染など)の確認	・災害被害を切っ掛けとした流出事故の発生などにより、環境に悪影響(汚染など)を与えていないか確認を行う。	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG		・危険な箇所には、その旨の表示をし、立ち入り禁止にする。 ・流出防止用の資機材を使用して応急処置を行う。 ・設備管理会社に連絡(「BCP-03-06_緊急通報・連絡先一覧表を参照)し、復旧作業の手配を行う。	
16			<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG			
17			<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG			
18			<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG			
19			<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG			
20			<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG			
21			<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG			
22			<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG			